

単元名 8 表現を見つめる ー漢字3 送り仮名

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりすることができる。
 (3) 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとする。

標準的な展開例

11210306_001

【準備等】国語辞典，練習問題プリント

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1・2 活用のある語，活用のない語の送り仮名の付け方について理解する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 送り仮名の付け方について理解しよう ○ 活用のある語の送り仮名の付け方について理解する。 ○ 活用のない語の送り仮名の付け方について理解する。 ○ 「練習問題」(p. 223)に取り組む。	・ 国語辞典を用意して，調べさせてもよい。 【評】 練習問題に取り組む活動を通して，「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

第2学年における最終のまとめである。ここでは，様々な文章に触れながら，読んだり書いたりする力をより確かなものにするとともに，人間の様々な営みを見つめさせていく。物語の登場人物は，置かれた状況により様々な側面を見せる。そうした様々な人間の営みに触れるとともに，言葉を通して自らを見つめ直し，人間に対する理解を深めさせたい。

言語活動としては，一年間の学習のまとめとなる壁新聞を作成して発表する際，自分の考えを広げるために，互いの考えについて意見を述べたり助言をしたりする活動がある。この活動は，今後の学習にも生活にも役立つことだろう。

また，多感なこの時期の生徒は，自分や他人を肯定的に見られなくことも多い。批判的に見ることは，新たな発見や成長につながることであったとして認めた上で，自分との関わりから人や物事を見つめ直す経験をさせ，人間に対する理解を深め，たくましく生きていく力を養いたい。